6　芸術（音楽）

| 学校番号 | １００９ |
|---|---|

# 令和２年度　芸術〔音楽〕

| 教科 | 芸術 | 科目 | 音楽Ⅰ | 単位数 | １単位 | 年次 | １年後期 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 高校音楽Ⅰ改訂版　Music View（教育出版） | | | | | | |
| 副教材等 | 高校生のための音楽研究ノート（教育芸術社） | | | | | | |

## 1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「歌うこと」「楽器を演奏すること」「音楽をつくること」「音楽を聴くこと」の４つの分野を年間通して学習します。
・音楽がどのように形づくられ、それをどのように感じて表すのかについて、他者とともに音楽を分かち合いながら学習を進めていきます。
・歴史的、文化的背景などの広い視野で音楽を捉えることで、音楽文化の理解を一層深めていきます。
・実技テストは授業中に発表形式で行います。お互いに聴き合うことで他者の表現を知り、刺激を受け、受け止めることで感性を広げていきましょう。

## 2　学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、豊かな感性と生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。

## 3　学習評価(評価規準と評価方法)

| 観点 | a:音楽への関心・意欲・態度 | b:音楽表現の創意工夫 | c:音楽表現の技能 | d:鑑賞の能力 |
|---|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 楽曲の曲想や背景との関わり、曲想を生み出している音楽的な特徴に関心をもち、演奏したり鑑賞したりする学習に主体的に取り組もうとしている。 | 楽譜に書かれていることをそのまま再現するように演奏するだけでなく、表現したい音楽のイメージを膨らませながら、楽曲にふさわしい音楽表現を工夫し、思いや意図をもって演奏する。 | 創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技術を身に付けるとともに、創造的に表現に結び付けて演奏する。 | 様々な音楽を聴き、それぞれの音楽がもつよさや美しさを味わう。文化的・歴史的背景などの特徴から音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴く。 |
| 評価方法 | 観察<br>演奏発表 | 観察<br>演奏発表 | 演奏発表<br>ワークシート | 観察<br>鑑賞の記録 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学期末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

| 学期 | 題材名 | 学習内容 | 主な評価の観点 | | | | 題材の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | a | b | c | d | | |
| 後期中間 | 意図を持って表現しよう | 【歌唱】<br>校歌（斉唱）<br>「世界に一つだけの花」<br>「少年時代」<br>（2部） | ○ | ○ | ○ | | a. 歌詞の内容と、音楽を形づくっている要素との関わりに興味・関心をもっている。<br>b. 歌詞の内容と、音楽を形づくっている要素の働きを感じて、表現を工夫している。<br>c. 表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。 | 観察<br>演奏発表 |
| | 美しい音色を意識して | 【器楽】<br>リコーダー<br>「さよなら」<br>「喜びの歌」<br>「オーラリー」<br>「ハトと少年」<br>「星に願いを」 | ○ | ○ | ○ | | a. 楽曲にふさわしい音色を考え表現することに、興味・関心をもっている。<br>b. 曲想を生かして、主体的に表現を工夫している。<br>c. 音色を意識し、表現したいことを伝えるための技能を身に付けている。 | 観察<br>演奏発表 |
| | 音楽の要素を知ろう | 【鑑賞】<br>ELEMENTS OF MUSIC<br>「メリーさんのひつじ」 | ○ | | | ○ | a. 楽曲の特徴や表現上の効果などに、興味・関心をもっている。<br>d. 音楽を形づくっている要素と感じ取ったことを結び付けて、特徴を言葉で表している。 | 観察<br>ワークシート |
| | 音楽の歴史 | 【鑑賞】<br>グレゴリオ聖歌<br>バッハ、モーツァルト、ベートーヴェン、シューベルト | ○ | | | ○ | a. 時代の変化における音楽の特徴に、興味・関心をもち、積極的に感じ取っている。<br>d. 聴き取ったことと感じ取ったことを結び付けて、楽曲の特徴を言葉で表している。 | 観察<br>鑑賞の記録 |
| 後期期末 | 曲想の違いを表そう | 【歌唱・鑑賞】<br>「Heidenröslein」<br>（斉唱）<br>ウェルナー作曲<br>シューベルト作曲 | ○ | ○ | ○ | ○ | a. ２曲の曲想の違いや、歌詞の内容と音楽を形づくっている要素の関連に興味・関心をもっている。<br>b. 曲想を把握して主体的に表現を工夫している。<br>c. 曲想の違いを意識し、表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。<br>d. ２曲の違いや音楽を形づくっている要素を感じ取っている。 | 観察<br>ワークシート<br>演奏発表 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 後期期末 | ギターに挑戦！ | 【器楽】ギター<br>「聖者の行進」 | ○ | ○ | ○ | | a. 各パートの役割を理解し、ギターアンサンブルに興味・関心をもっている。<br>b. 各パートにふさわしい表現を工夫している。<br>c. 各パートにふさわしい表現をするための技能を身に付けている。 | 観察<br>演奏発表 |
| | 三線に触れてみよう | 【器楽・鑑賞】<br>三線<br>「海の声」 | ○ | ○ | ○ | ○ | a. 沖縄音楽の文化的・歴史的背景への関心を高めている。<br>b. 音色を意識して、主体的に表現を工夫している。<br>C. 三線の楽譜を理解し、基礎的な奏法を身に付けている。<br>d. 沖縄音楽の特徴を捉え、そのよさを味わって鑑賞している。 | 観察<br>ワークシート |
| | イメージを音楽に表そう | 【創作】<br>歌詞の内容に合わせた旋律の創作 | ○ | ○ | ○ | | a. イメージをもって創作することに興味・関心をもっている。<br>b. 表現したい音楽のイメージをもって、音楽の諸要素を工夫して作曲している。<br>c. 音楽のイメージを表現できる技能を身に付けている。 | 観察<br>演奏発表<br>ワークシート |

※　表中の観点について　a:音楽への関心・意欲・態度　　b:音楽表現の創意工夫
　　c:音楽表現の技能　　d:鑑賞の能力

※　原則として、「歌唱」「器楽」「創作」の分野は a, b, c の３観点で、「鑑賞」の分野は a, d の２観点で評価をする。

※　学期間を通して全ての観点について評価することとなるが、学習内容（題材）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。